

種類別明細書（増加資産・全資産用） 記入例

申告の年度を記載してください。

該当資産の名称等を、資産の種類順に記入してください。
マスは便宜上付けてありますが、1マスずつ記入する必要はありません。
楷書ではっきりと記入してください。（漢字可）

国庫補助金等で取得した資産で、取得価額の圧縮をしたものについては、圧縮前の取得価額を記入してください。

所有者名を記入してください。

3枚のうち2枚目、というようにページ数を記入してください。

令和 7 年度		所有者コード		種類別明細書（増加資産・全資産用）		所有者名		枚のうち					
記入の必要はありません。		記載内容の訂正時の訂正印は不要です。		0. I. B. 株式会社		1		枚目					
行番号	資産の種類	資産コード (記入しない)	資産の名称等	数 量	取得年月 年 月	取得価額 十 百 千 円	耐用年数	減価残存率	価 額 十 百 千 円	課税標準の特例 率 コード	課税標準額 十 百 千 円	増加事由	摘要
01	2		コンプレッサー	2	5 6 2	780,000	3					1	新品取得 → 1
02	2		溶接ロボット	1	5 6 3	3,500,000	15					1	中古品取得 → 2
03	6		パソコン	1	5 4 6	248,300	4					1	移動による受け入れ → 3
04	6		クーラー	1	5 5 3	303,800	6					1	その他 → 4
05													
06													
07													
08													
09													
10													
以下を通り数字で記入してください。													
構 築 物 → 1													
機 械 装 置 → 2													
船 舶 → 3													
航 空 機 → 4													
車 両 ・ 運 搬 具 → 5													
工 具 ・ 器 具 ・ 備 品 → 6													
資産を購入・製作等した年月を記入してください。 なお、年号は以下の通り数字で記入してください。 令和 → 5 平成 → 4 昭和 → 3 ただし、1月1日に取得した資産の場合は、その前年の12月を取得月としてください。													
電算処理により申告する場合は、この網掛け部分も記入してください。													
耐用年数表に定める耐用年数を記入してください。 中古資産等を取得し、税務会計上、見積耐用年数によっている場合は、その見積耐用年数を記入してください。 短縮耐用年数によっている場合はその耐用年数を記入してください。													
「摘要」欄には、次のような事項を記入してください。 1. 非課税または課税標準の特例の適用がある資産について、その適用内容。 2. 他の市町村からの移動により受け入れた資産について、その異動年月等。 3. その他、価額の決定に必要な事項。													
ページごとの取得価額の合計を記入してください。													
16			小 計	5		4,832,100							
17													
18													

注意 「増加事由」の欄は、1 新品取得、2 中古品取得、3 移動による受け入れ、4 その他のいずれかに○印を付けてください。